

スタッフインタビュー: Profile. 1

つむぐ人たち

ソナーレで働くスタッフそれぞれの思いを通して、
介護に携わるプロフェッショナルの「声」をお届けします。

ソナーレ石神井

恵 公平

めぐみ こうへい

副ホーム長 兼 ライフマネージャー
2020年入社

介護福祉士、介護支援専門員、東京都
認知症介護実践者研修終了。高齢者
複合施設、デイサービス施設を経て、
ソナーレ石神井へ。介護職13年目。



一人ひとりの思いを大切に、
人と人をつなぎベストと思える
ケアを実現していきたい

ホーム運営に必要な さまざまな調整を担当

現在、「ソナーレ石神井」の副ホーム
長として、人事やスタッフのシフト管
理、人居促進の仕事、地域の方や外部
ボランティアとの連携など、さまざま
な業務を行っています。また、ライフ
マネージャーとしては、スタッフと協
力し、ご入居者とコミュニケーション
をとりながら、お一人おひとりの「ライ
フプラン」を作成しています。

「ソナーレ石神井」では、スタッフが
いくつかのチームに分かれてご入居
者と向き合い、ご本人のやりたいこと
や希望を叶える「Life Focus
(ライフフォーカス)」という取り組み
を行っています。そのすべてのチーム
に入って、サポートや調整を行ってい
ます。

2つのホームが 合同で感動的な お誕生日会を実現

先日、「Life Focus」の取り
組みのひとつとして、「ソナーレ浜
田山」と合同で企画・実行したお
誕生日会がとても印象的でした。

娘様からのご提案で「ソナーレ石神
井」と「ソナーレ浜田山」に、別々にご
入居されているご夫婦が二年半ぶり
に再会し、一緒にご主人のお誕生日を
お祝いされました。当日までに、両
ホームのスタッフが連絡を取り合い、
スケジュール調整や演出の用意、お二
人のお気持ちと体調の管理など、き
め細かく打ち合わせと準備を行って、
その日を迎えました。

久しぶりに再会したご夫婦は少し
緊張されていたご様子でしたが、バラ
の花を贈りあい、会が終わる頃には
すっかり昔のように打ち解け、素敵な
笑顔を見せてくださいました。参加
したスタッフも心温まるひとときに、
たくさん感動をいただきました。
「Life Focus」は、スタッフにと
つても、大切な取り組みだと考えて
います。

寄り添う思いのある スタッフに囲まれて

日々、感じていることなのですが、
「ソナーレ石神井」では、ケアスタッフ
だけでなく、ケアマネージャーも作業
療法士も、ナースも、それぞれの役割
にとらわれず、ケアに関わっている
ところが、素晴らしいと自負してい
ます。どのスタッフもご入居者のお
一人おひとりのご様子をとてもよく
見ていて、さまざまな気付きを共有
してくれます。

ご入居者のご家族はもちろん、ス
タッフや地域の方々など、たくさん
の思いが重なり合うこの場所で、
人と人をつなげ、一番よい形でケアを
実現していくことが、私の役割だと
思っています。



スタッフインタビュー:Profile.2

つむぐ人たち

ソナーレで働くスタッフそれぞれの思いを通して、
介護に携わるプロフェッショナルの「声」をお届けします。

ソナーレ石神井

安中 美咲

あんなか みさき

ケアスタッフ
2020年入社

介護福祉士。「人の役に立つ仕事がしたい」との思いから、看護助手の仕事を経験。高齢の方と接する中で、介護職へ進むことを決意した。



毎日たくさんの「ありがとう」に支えられ
皆さんから元気をもらっています。

深く寄り添い理解して
その方に合ったケアを

私たちケアスタッフは、ご入居者の日常生活のお手伝いをしています。食事、入浴サポートなどの「身体介助」のほか、居室の整備、毎日のレクリエーションの企画・実行といった「生活支援」を担当します。ご入居者と接する時間も多いため、コミュニケーションの大切さを日々、実感しています。

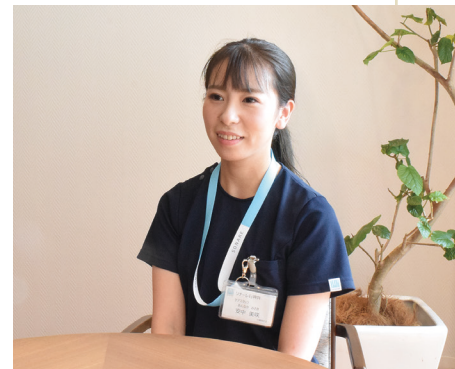
安心して、心地よく過ごしていただくためには、やはり、お一人おひとりに寄り添って、その方にあつたケアをすることが大切なので、そのような環境をつくりたいと工夫を重ねています。そのためには、その方がこれまでどんな人生を送って、どのような生き方をされてきたのかを知る必要があります。と思います。

そうした理解がベースにあると、コミュニケーションもスムーズになって、笑顔が増えるように感じています。だから、以前はどんなお仕事をされていたのかとか、どんなことがお好きなのかなど、たくさん会話をして、その方のバックグラウンドを深く知りたいと思っています。

Life Focusの
考えに共感して入社

ソナーレに入社した理由は「Life Focus(ライフフォーカス)」という考え方に共感し、そのための仕組みがしっかりしているところがよいなと思ったからです。通常業務の中では、お一人の方にゆとり向き合っていて、お話を伺う時間がなかなか持たせません。

ソナーレでは「Life Focus」のための時間がしっかりとシフトに組み込まれているので、その時間はケアの業務を離れて、お一人おひとりと深くコミュニケーションをとることが出来ます。その方が、どんな暮らしを望まれているのか、どうしたら生活にはりあいが生まれるのか、コミュニケーションを重ねる中から見つけていきたいと思っています。

日々の生活の中に
笑顔を増やしたい

私はメイクするのが好きなので、レクリエーションの時間や空いている時間に、女性のご入居者にメイクをして差し上げることがあります。口紅をさつと塗るだけでも、とても喜んでくださるので、私もうれしくなります。ご入居者やご家族に「ありがとうございます」と言っていたいたり、笑顔を見せていただくことが、私自身の励みになっています。

何か特別なイベントのときはもちろんですが、ふだんの生活の中で笑顔が増えたら、それが一番だと思うので、これからも、いろいろな方に喜んでいただけることを一つひとつ見つけていきたいと思っています。



スタッフインタビュー: Profile.3

つむぐ人たち

ソナーレで働くスタッフそれぞれの思いを通して、
介護に携わるプロフェッショナルの「声」をお届けします。

ソナーレ浜田山

五十嵐 健人

いがらし たけと

作業療法士
2020年入社専門学校卒業後、急性期～回復期
に対応する総合病院に就職。その
後、訪問リハビリテーション事業所
を経て、ソナーレ浜田山へ。みなさんの笑顔が一番のやりがい
心も身体も軽くなる
リハビリを目指します適切なリハビリのために
個別の計画書を作成

OT(作業療法士)として、「ソナーレ浜田山」のオープン時から勤務しています。ソナーレでは、お身体の状態に合わせて個別のリハビリ計画書を作成し、OTを中心としたスタッフ全員でご入居者の自立した生活を支援しています。この計画書には、OTが行う訓練のほか、「生活動作すべてがリハビリにつながる」という考えから、ケアスタッフが過不足のない介助を行うことで、ご入居者の能力の維持向上を図っていく「生活リハビリ」の目標も記載しています。適切な計画書を作成するために、週1回の「個別リハビリ」で、お身体の機能に変わりがなにか確認するほか、入浴やお手洗いなどケアスタッフが介助をする現場に立ち会って、日常生活の様子も拝見します。

心に寄り添った

リハビリを提供したい

入居されている方は、お身体の状態だけでなく、それぞれに異なる

バックボーンをお持ちです。本当の意味でお一人おひとりに合ったリハビリを提供するためには、その方をよく知ることが必要ですから、日々の関わりを大切にしています。リハビリの時間も雑談を交え、和やかな雰囲気の中で出た、ふとした言葉を聞き逃さないように気を付けています。

あるご入居者の方は「外出がしたい」とおっしゃっていたので、リハビリの一環として商店街に買い物に行くことにしました。歩くことや店員さんとコミュニケーションをとること、金銭のやりとりも立派なリハビリです。お花や本などお買い物もされて、とても満足されたご様子でした。室内での訓練だけでなく、ときにはこのようなリハビリもしています。

季節のイベントなどで
生活のほりあいを作る

OTとしての仕事のほかにも、日替わりで行うレクリエーションの企画や運営にも携わっています。内容は身体を動かすものや頭の体操になるもの、単純に楽しんでもいただけるものなど、毎日のことなので、飽きずに行えるだけ多くの方に参加していただけるよう工夫をしています。レクリエーションの時間があることで、ほかのご入居者と会話をしたり、お部屋から出るきっかけになるので、みなさんに参加していただきたいですね。季節を感じていただくことも大事ですので、お花見や紅葉狩りなど、外の空気を感じることができるとも開催したいですね。機能的な訓練だけでなく、「ソナーレ浜田山」での生活のすべてを通して、お身体の状態だけでなく、心に寄り添ったサービスを提供したいと思っています。



スタッフインタビュー:Profile.4

つむぐ人たち

ソナーレで働くスタッフそれぞれの思いを通して、
介護に携わるプロフェッショナルの「声」をお届けします。

ソナーレ浜田山

猪狩 舞

いかり まい

ケアスタッフ
2020年入社

介護職の母の姿を見て育つ。中学生の頃には特別養護老人ホームでボランティアに参加するなどして、介護職への進路を決めていた。



いつもご入居者のみなさんから
寄り添うことの大切さを教わっています

小さな変化も見逃さず 声を掛けていきたい

「ソナーレ浜田山」のケアスタッフとして、ご入居者の日常生活のサポートや【Life Focus(ライフフォーカス)】の取り組みなどを通して、生活を充実させるお手伝いをしています。心掛けているのは、ご入居者の表情やご様子がいともと違っていかないかなうなど、日頃の観察を欠かさないと。些細な変化にも気付けるように注意しています。例えば、いつも笑顔でハキハキされている方なのに、今日はちょっと声のトーンが下がっているな、笑顔が少ないな、と思った時にお話を伺うと、何か悩んでいたりと、体調がすぐれなかったりすることがあります。「忙しいだろうから」と、スタッフを気遣って我慢されていることもあるので、忙しくても、すぐに気が付いて、こちらからお声を掛けることが重要だと思っています。

実はご入居者のみなさんも、スタッフの表情をよく見ていらつしやいます。ある方に、「今日はあまり笑っていないけど大丈夫？無理しないでね」と声を掛けていただいたことがあります。

目標としているのは 生活を充実させるケア

ソナーレに入社した理由は、お一人おひとりに寄り添って、その方に合わせたケアを行うという、私自身の目標でもあったことを実践できると思ったからです。また、【Life Focus(ライフフォーカス)】という取り組みで、自分が担当する入居者の方とじっくり向き合って、その方の生活



した。顔には出さないようにしていたのですが、落ち込んでいた時だったので、びつくり。もちろん、「大丈夫です。ありがとうございます」と答えましたが、そんな風に気付いて心配してくださったことがとてもうれしくて、心に残っています。

を充実させるためのお手伝いができる点がとてもいいなと思ったからです。ご入居者とお話をする機会や時間をしっかりと持てて、その方の望んでいることや、やりたいことをお聞きすることができて、【Life Focus(ライフフォーカス)】の時間を実現することもできています。

今はいろいろと制限もあります。「カフェでお茶をしたい」「少し遠くに外出したい」というご要望もよく伺います。せうかく入居していただいたのですから、できる限りご希望に寄り添って、充実した生活を送っていただけるようお手伝いをしていきたいと思っています。

